

Polish Posters for Films



Polskie plakaty filmowe

日本・ポーランド国交樹立100周年記念

展覧会

ポーランドの映画ポスター

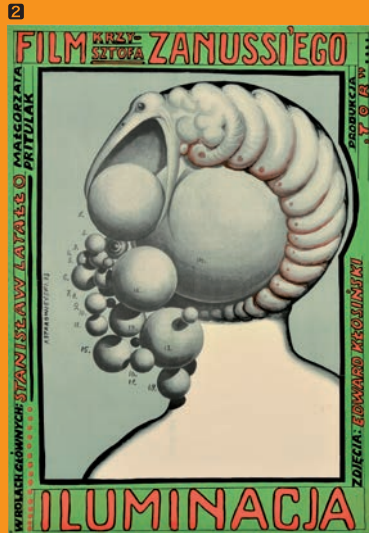
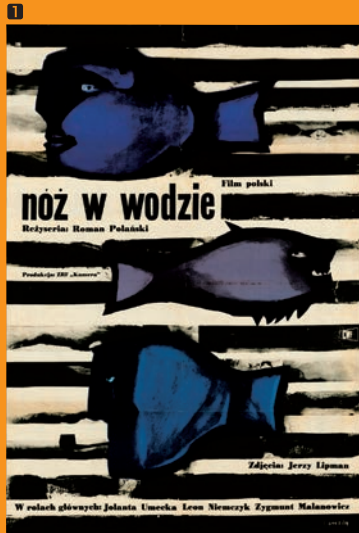
京都国立近代美術館 [岡崎公園内]
 THE NATIONAL MUSEUM OF MODERN ART, KYOTO
 4階 コレクション・ギャラリー

2020
3.17 (火) → **5.10** (日)

会期中に一部展示替があります。

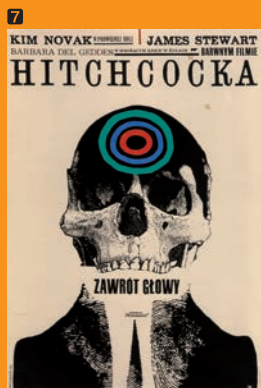
開館時間：9時30分～17時、ただし金・土曜日は20時まで開館（いずれも入館は閉館の30分前まで）
 休館日：毎週月曜日、ただし5月4日（月・祝）は開館
 主催：京都国立近代美術館、国立映画アーカイブ
 後援：駐日ポーランド共和国大使館、ポーランド広報文化センター

観覧料 一般430円(220円)、大学生130円(70円)
 ※()内は20名以上の団体料金 ※本料金でコレクション展もご覧いただけます
 ※高校生以下、18歳未満および65歳以上、心身に障がいのある方とその付添者1名は無料(入館の際に証明できるものをご提示下さい)



展覧会の構成

第1章 ポーランド映画のポスター 第2章 日本映画のポスター 第3章 世界各国の映画のポスター



第二次世界大戦の終結以来、コミュニズムの道を歩むこととなったポーランドにあって、1950年代の中期から社会主義リアリズムを脱却し、新世代のアーティストによる自由な表現がもっとも推し進められたのが映画とグラフィック・デザインという二つの分野でした。アンジェイ・ワイダやエジ・カヴァレロヴィチなどの監督を世界に知らしめた映画界、そして表現の斬新さで国際的に注目されたポスター芸術、その両方に「ポーランド派」という呼び名が与えられました。なかでも映画ポスターにおいてはロマン・チェシレヴィチ、ヤン・ムウォドジェニツなどの抜きん出たデザイナーたちが活躍し、映画から受けたインスピレーションを、隠喩に満ちた自在な表現へと実らせました。

本展覧会では、京都国立近代美術館と国立映画アーカイブの共催により、日本とポーランドの国交樹立100年を記念する企画として、1950年代後半から1990年代前半までに制作された、国立映画アーカイブ所蔵品を中心とする96点の映画ポスターを紹介し、ポーランドの映画はもちろん、ヨーロッパ各国の作品やアメリカ映画、さらには日本映画のポスターにもご注目いただき、映画とグラフィックの出会いから生まれる、時に優雅で、また時には緊張を湛えたポスターアートの数々をご堪能ください。

- 1 『水の中のナイフ』(1962年/ポーランド/ロマン・ポランスキ監督) ポスター:ヤン・レニツァ(1962年) Ⅲ
- 2 『イルミネーション』(1973年/ポーランド/クシシュトフ・ザヌッシ監督) ポスター:フランチシェク・スタロヴィエイスキ(1973年) Ⅲ
- 3 『姿三四郎』(1965年/日本/内川清一郎監督) ポスター:エジ・フリサク(1971年) Ⅲ
- 4 『就職』(1961年/イタリア/エルマンノ・オルミ監督) ポスター:ヴァルデマル・シフィエジ(1964年) Ⅲ [前期のみ]
- 5 『ダントン』(1983年/フランス=ポーランド/アンジェイ・ワイダ監督) ポスター:ヴィエスワフ・ヴァウクスキ(1993年) Ⅲ [前期のみ]
- 6 『美しさと哀しみと』(1965年/日本/篠田正浩監督) ポスター:マチェイ・ヒブネル(1967年) Ⅲ
- 7 『めまい』(1958年/アメリカ/アルフレッド・ヒッチコック監督) ポスター:ロマン・チェシレヴィチ(1963年) Ⅲ [後期のみ]
- 8 『地下鉄のザジ』(1960年/フランス/ルイ・マル監督) ポスター:ヨロンタ・カルチェフスカ(1968年) Ⅲ
- 9 『醜い奴、汚い奴、悪い奴』(1976年/イタリア/エットレ・スコラー監督) ポスター:エジ・フリサク(1978年) Ⅲ
- 10 『ノスタルジア』(1983年/イタリア=ソ連/アンドレイ・タルコフスキー監督) ポスター:スタシ・エイドリグヴィチュス(1989年) Ⅲ [前期のみ]

Ⅲ 国蔵野野美術大学 美術館・図書館所蔵 Ⅳ 神奈川県立近代美術館所蔵 Ⅴ 川喜多記念映画文化財団所蔵 Ⅵ アットワンダー所蔵 Ⅶ 国立映画アーカイブ所蔵
前期展示:3月17日(火)~4月12日(日) 後期展示:4月14日(火)~5月10日(日) ①②③④⑤⑥⑦⑧⑨⑩ ©ADAGP, Paris & JASPAR, Tokyo, 2019 G1994

講演会

「ポーランド・ポスターの歴史と魅力」
 講師: 羽山昌夫 (神奈川県立近代美術館 普及課長)
 日時: 3月21日(土) 14:00 - 15:30
 会場: 京都国立近代美術館 1階講堂
 ※ 先着100名、聴講無料、当日午前11時より1階受付にて整理券をひとり1枚のみ配付します

ギャラリートーク

4月18日(土) 第1回目 13:30 - 14:30
 第2回目 16:00 - 17:00
 講師: 岡田秀則 (国立映画アーカイブ主任研究員)
 会場: 本展開催場所
 ※ 聴講無料、要観覧券、各回開始10分前に4階コレクション・ギャラリー入口にお集まり下さい

映画上映会 NFAJ所蔵作品選集 MoMAK FILMS
 ポーランドの映画ポスター展開催記念

4月25日(土) ① 14:00 - 15:34 『水の中のナイフ』(ロマン・ポランスキ監督、1962年、94分)
 ② 16:00 - 18:33 『鉄の男』(アンジェイ・ワイダ監督、1981年、153分)

4月26日(日) ③ 14:00 - 15:25 『ゴジラ対ヘドラ』(坂野義光監督、1971年、85分)
 ④ 16:00 - 18:32 『新幹線大爆破』(佐藤純彌監督、1975年、152分)

会場: 京都国立近代美術館 1階講堂
 主催: 京都国立近代美術館、国立映画アーカイブ
 特別協賛: 木下グループ
 料金: 1プログラム520円(当日券のみ) 先着100席(各回入替制)
 ※ 入場券は1階インフォメーションにて販売します
 ※ 上映作品の詳細については、当館ホームページまたは『MoMAK Films プログラム』をご覧ください
 ※ 上映作品は都合により変更になる場合があります

京都国立近代美術館 <http://www.momak.go.jp/>
 〒606-8344 京都市左京区岡崎円勝寺町 075-761-4111 (代表)



交通案内

JR・近鉄〜バスをご利用の方

- JR・近鉄京都駅前 (A1のりば) から市バス5系統 銀閣寺・岩倉行「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ
- JR・近鉄京都駅前 (D1のりば) から市バス100系統(急行) 清水寺・銀閣寺行「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ

阪急電鉄・京阪電鉄〜バスをご利用の方

- 阪急烏丸駅・京都河原町駅、京阪三条駅から市バス5系統 銀閣寺・岩倉行「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ
- 阪急烏丸駅・京都河原町駅、京阪四條駅から市バス46系統 祇園・平安神宮行「岡崎公園 美術館・平安神宮前」下車すぐ

市バス他系統ご利用の方

- 「岡崎公園 ロームシアター京都・みやこめっせ前」下車徒歩約5分 ● 「東山二条・岡崎公園口」下車徒歩約10分

地下鉄ご利用の方

- 地下鉄東西線「東山駅」下車徒歩約10分

お車で越えられる方

当館には駐車場がございません。近隣の有料駐車場施設のご利用をお願いいたします
 岡崎公園駐車場をご利用の有料入館者は、駐車場の割引(1台につき1回)を受けられますので駐車券をお持ちの上お越し下さい

